

先進事例を見る

全国中央会では、中小企業・小規模事業者や組合等連携組織が、新たな事業活動への挑戦や組織体制の見直し等を行う際の参考となるよう、知識や経験、ノウハウの移転・活用につなげることを目的に掲げ、都道府県中央会と連携し、課題解決等に先進的に取り組む組合活動事例について調査・分析、収集・普及を行っています。今回は、令和元年度に行った調査のうち、「社会貢献・SDGs」についての組合事例をご紹介します。

企業組合ジパング

— ドローンを活用したスマート農業の普及と農福連携 —

住 所	(〒994-0103) 山形県天童市大字川原子2239-1		
電 話 番 号	023-665-4660	U R L	http://zpng.jp
設 立	平成30年11月	出 資 金	200千円
主 な 業 種	卸売業・小売業	組 合 員 数	4人

■背景・目的

代表が営んでいる建設業でのドローン活用技術とノウハウを、農薬散布などの農業分野へも展開することにより、農家の労働力の省力化と人件費のコスト削減やスマート農業に興味を持つきっかけにしたいと考えて事業化に着手し、企業組合を設立し、様々な事業を展開している。

■取組みの手法と内容

代表を中心に、建設業での測量作業へのドローン活用のノウハウを積み重ねてきており、機体メーカーとの強い結びつきも活かしながら、各種事業を展開している。現在はドローン機体の販売事業、ドローン整備事業、ドローン操縦に係る講習施設運営事業、ドローンによる防除事業、障がい者の農業参加を手助けする「ハートフル・ドローンプロジェクト」などを実施している。

当組合は代表的なドローン機体メーカー（DJI社）の一次代理店の支店でもあるため、山形県と宮城県での農業用ドローンの販売を担っている。組合員4名が販売・講習・Web・事務などの得意分野を分担して事業を運営し、組合設立初年度ながらも、ほぼ計画通りの売上を達成することが出来た。これまで蓄積してきた豊富なノウハウを元に、メーカーとの結びつきを活かすことにより、展示会などでの事業のPRから、体験イベントの実施、認定教官による講習会の開催、購入後の充実した整備体制、トラブルへの対応など、トータルなサービスの提供を行っている。

機体は99万円程度と軽乗用車並の価格ではあるが、万が一墜落事故等が起きても、機体を“無償で何度でも修理又は交換を行う”といった、他にはないドローン専門店だから出来るサポート体制が充実していることも特徴である。

■成果とその要因

初年度はほぼ目標通りの売上を達成、数年後には山形県内4地域に営業所・整備所を設ける計画を立てている。10年間にわたるドローン活用ノウハウを元に、購入前の相談や体験イベントを通じて農業分野への活用メリットをPRし、認定教官による教習の実施やドローン専門店の強みを活かし、機体の販売だけではなく、整備やトラブル対応ができることが大きな強みとなっている。



▲ハートフル・ドローンプロジェクト



▲講習会の様子



Point

ドローンについて長年培ってきた豊富なノウハウと、ドローン専門店の強みを活かすことにより、地域農家へのスマート農業の導入や農福連携活動が展開できている。